

大石さんは北海道大学をご卒業後、循環器病センター等で経験を積まれて、現在姫路循環器病センターでご活躍されています。

循環器疾患についての緩和ケアについて考えるきっかけとなりましたのは、以前いた病院で循環器の医師から「慢性心不全における緩和ケア」というテーマで、悪性腫瘍との類似点と相違点、心不全の緩和ケアは必要だが問題点も多いという話をきいていました。今回、大石さんが全国に先駆けて、循環器病の緩和ケアチームを作られ、多職種で望むチーム医療を実践され、身体的苦痛だけでなく、心の不安や悩みにも対応されていると伺い、どのような形で取り組まれているのかをぜひお聞きしたいと思います。また在宅医療にも力を入れられているということで、そのあたりのお話も伺えたらと思います。